

志木小学校だより

令和元年度11月号



学校地域教育目標

明るくあいさつのできる子
地域を大切にする子

思いやりのある子
意欲的に学ぶ子

11/1子供数 749名

自分にできること しっかりやっていますか？

校長 坂口 栄 二



いろはふれあい祭り

10月18日（金）から20日（日）に、志木小学校といろは遊学館・いろは遊学図書館の連携事業である「いろはふれあい祭り」が開催されました。一万人を超える来場者があり、とても盛り上がりのある祭りとなりました。これも、多くの関係者の皆様のおかげです。お世話になりました。そして、ありがとうございました。

一方で、全国的に台風や大雨により多くの被害が発生いたしました。被害にあわれた方々に心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興をひたすら祈念いたします。

ONE TEAM

最近「ONE TEAM」という言葉をたくさん聞いていると思います。この言葉は、現在開催されているラグビーワールドカップに出場し、様々な感動を与えてくれた**日本代表の合言葉**です。2016年に現日本代表チームのヘッドコーチに就任した**ジェイミー・ジョセフ氏**が選手とともに考えた言葉です。「外国人、若い選手、ベテランもいるが、チームが一つになって戦いたいと思った。『**チームのために、全員で戦う**』ということ」と会見で述べられました。



この言葉を見事に体現し、私たちは**たくさんの感動や勇気**をもらいました。人には**それぞれの個性**があります。**自分がチームのためにできること**を厳しい練習の中から見つけ出し、**実直にあきらめずチームメイトと協力し、自分のできることを繰り返す**。そんな代表選手の姿をたくさん見ることができ、「ONE TEAM」を実感することができました。

私たちは**誰もが社会の一員**として生きています。また、**様々な集団の中で活動**もしています。集団の中で「**自分は何ができるのか**」を考えて行動することはとても重要なことです。**誰もが何らかの役割**をもっています。私たちも「ONE TEAM」の考え方を胸に、**自分のできることを精一杯実行**したいものです。

秋田のなまはげの教え

先日、全国小学校長連合会の研究協議会が秋田県で行われ、自分が参加させていただきました。全国の小学校の校長先生たちと研究協議をし、多くのことを学ぶことができました。



その中で、とても印象に残ったのが「**秋田の伝統行事である『なまはげの教え』**」です。

秋田県は、毎年全国学力・学習状況調査において正答率がとても高い県です。研究協議会で秋田県の校長先生から聴いた話から、その理由が分かったような気がしました。

秋田県では**幼児期に「なまはげの教え」を心に刻まれる**そうです。「**悪いことやよくないことをすると、恐ろしいなまはげがやってくる**。」そう教えられるので、**やるべきことはしっかりする、人のためになることを進んでする心が幼児期から育っている**そうです。

例えば、**宿題は必ずやってくる**。忘れる子はいない。早寝早起きをして**規則正しい生活を送っている**。実は、これらのことは学習状況調査からも結果として出ています。

自分にできることをしっかりやって力をつける

「ONE TEAM」も「なまはげの教え」も「**自分のできることをしっかりすること**で**大きな力を得ることが**できる」ことに共通点があります。「**できることをしっかり行う**」ことで**他のことにも挑戦し新たな力をつける**こともできる良循環になります。「**できることをしない**」と他のことから逃げ、力をつけることができない悪循環に陥ります。

最近あいさつについて気になっています。元気に大きな声であいさつをしてくれたり、ハイタッチをしてくれる子供も多いのですが、目を合わせず、言葉も発しない子供もいます。きっと、家庭でもあいさつしていないのだろうなどと思ってしまいます。

あいさつは誰でもできます。**あいさつをしているか家族で確かめ合うことから始めて、できることをしっかりやっているか振り返ってみてはどうでしょうか。**

「**できることをしっかり行う**」ことで、子供たちが、ラグビー日本代表のように大きな力を身につけてほしいと願っています。